有識者会議(第2回)確認事項

平成24年6月11日

スケジュール等確認事項

- 有識者会議のスケジュールについて
- •「自立分権型行財政改革」について
- ICT活用についての議論の進め方について
- 財政健全化について議論の進め方について
- 職員意見の反映について

〇有識者会議のスケジュール(予定)

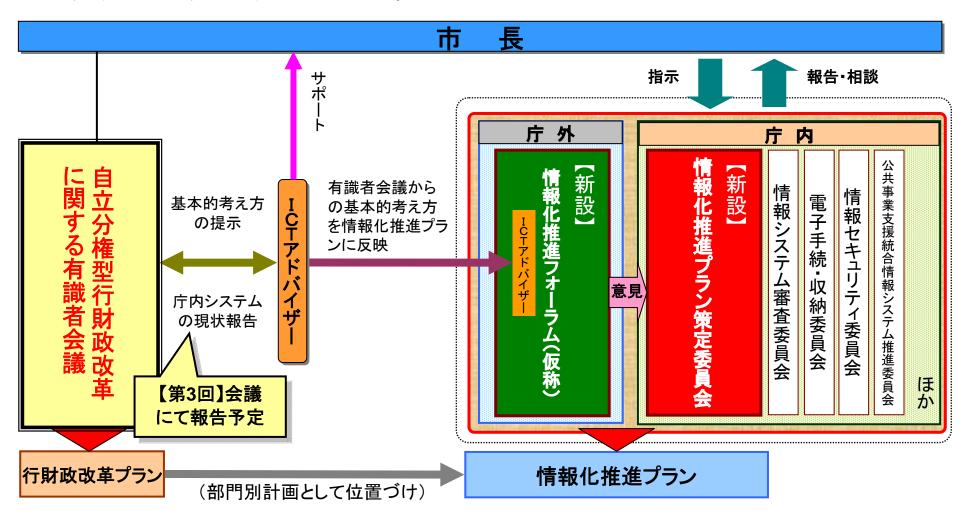
(平成24年6月11日時点)

	5 — 5 — (- 1 -)
各回のテーマ(案)	
・趣旨説明、今後のスケジュール	
これまでの行政	改革の取組みと課題
これまでの財政	健全化の取組みと課題
新たなプランの	基本的な考え方
【第2回】 市民の納得と共感	〇広報・広聴・情報公開
	〇行政手続きの利便性向上
	〇市民との共働
(前回の振り返り)	〈市民の納得と共感〉全般
政健全化	○共衆ル・ラルノル
	〇効率化・スリム化
_	〇事務事業の評価・見直し 〇財源の確保
政健全化	
	〈財政健全化〉全般
	〇組織マネジメント・事務改善
	〇人材育成•活性化
・行財政改革プラン(素案)	
・行財政改革プラン(原案)	
	これまでの行政ニれまでの財政新たなプランの民の納得と共感(前回の振り返り)政健全化(前回の振り返り) 政健全化(前回の振り返り)織風土改革 行財政改革プラ

※各回テーマについて、ご意見、ご提言をいただく。

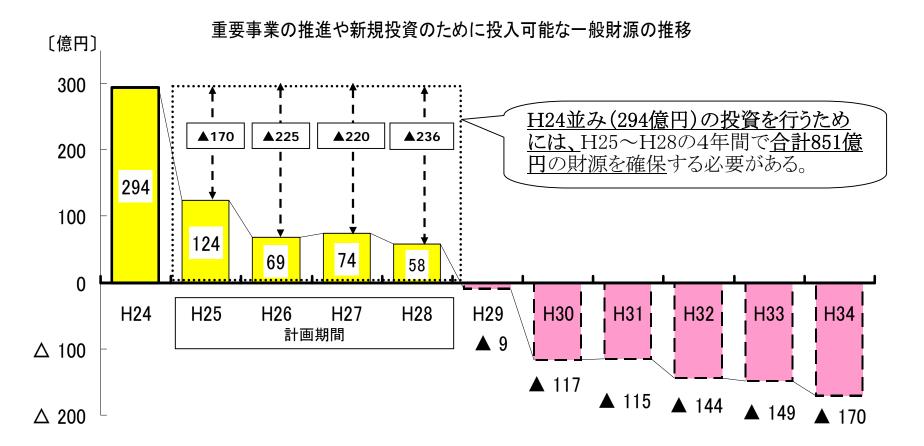
■ 行財政改革を踏まえた情報化推進体制 (案)

- ▶ 自立分権型行財政改革に関する有識者会議(以下「有識者会議」という。)からの「基本的考え方」を踏まえ、学識経験者等から構成する情報化推進フォーラム(仮称)及び関係部局で構成する情報化推進プラン策定委員会において、「情報化推進プラン」を策定。
- ▶ ICTアドバイザーは、有識者会議の「基本的考え方」の提示を受け、行財政改革プランとの整合を図りつつ、現在の情報システムの現状と課題を整理し、情報化推進プランの策定を支援。
- ▶ また、市長に対して、ICT政策のサポートを行う。



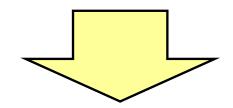
重要事業の推進や新規投資のために使える財源

- ◆ 一般財源の総額はほぼ横ばいで推移するが、①少子高齢化の影響を受けて社会保障関係費を中心とした経常 的経費の増嵩が続き、加えて、②公共施設等の施設の維持保全・長寿命化のための経費(アセットマネジメント 経費)が大幅に増加する。
- ◆ その結果、重要事業の推進や新規投資のために使える財源は、今後、著しく減少していく見込み。
 - 一 仮に、平成24年度と同等の投資水準を維持するには、現在の試算では平成25年度から平成28年度までの 4年間で、新たに851億円の財源を確保する必要がある。
 - 一 このままの財政運営では5年後には新規投資が全く不可能になる。
- ◆ この他に、市民会館や体育館など大規模施設の建替等の財政需要も見込まれており、確保すべき財源は更に 拡大する可能性がある。



職員意見の反映について

○局長級職員からは、4月当初の幹部会にて、市長から行財政改革に 関する考えを伝えたうえで、これまでの行財政改革の反省点、今後の 取組みの方向性について、意見を聴取。



○今後、一般職員全員に対して、市長の行財政改革に関する考えや思いを伝え、仕事のやり方などに関し、個別具体的なアイデアや総括的な行財政改革に関する意見を募集し、市長をリーダーとする「改革プロジェクトチーム」にて十分検討を行い、新たに策定する「行財政改革プラン」に積極的に取り入れる。